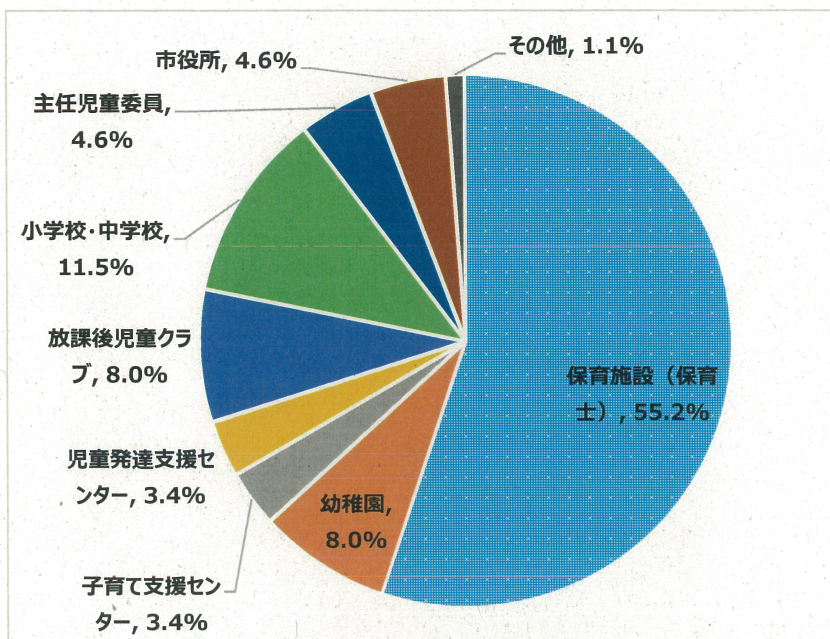


令和4年度第2回保育施設等職員研修会アンケート結果 【宮津市 全体】

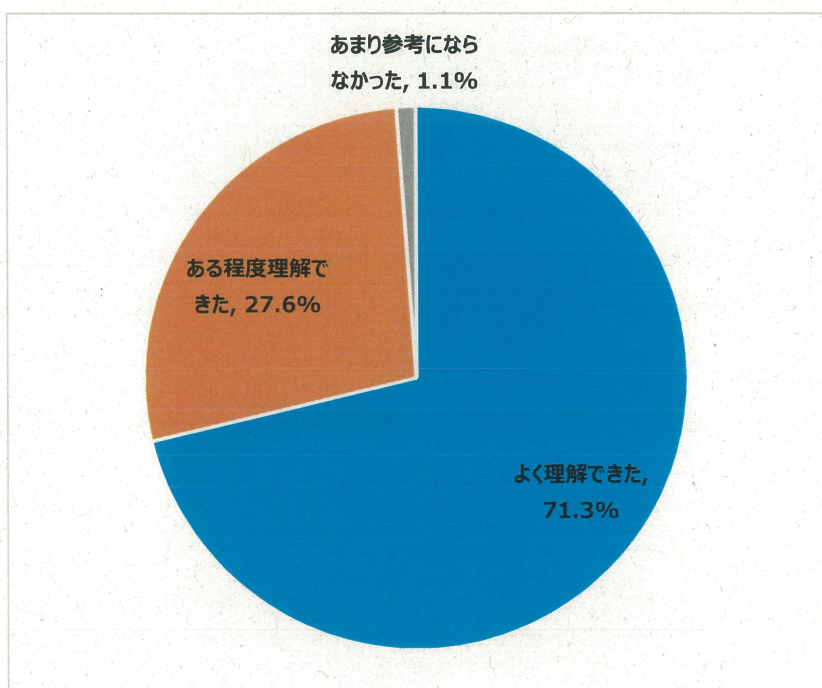
1 所属機関

| | |
|------------|----|
| 保育施設（保育士） | 48 |
| 幼稚園 | 7 |
| 子育て支援センター | 3 |
| 児童発達支援センター | 3 |
| 放課後児童クラブ | 7 |
| 小学校・中学校 | 10 |
| 主任児童委員 | 4 |
| 市役所 | 4 |
| その他 | 1 |



2 研修会の内容

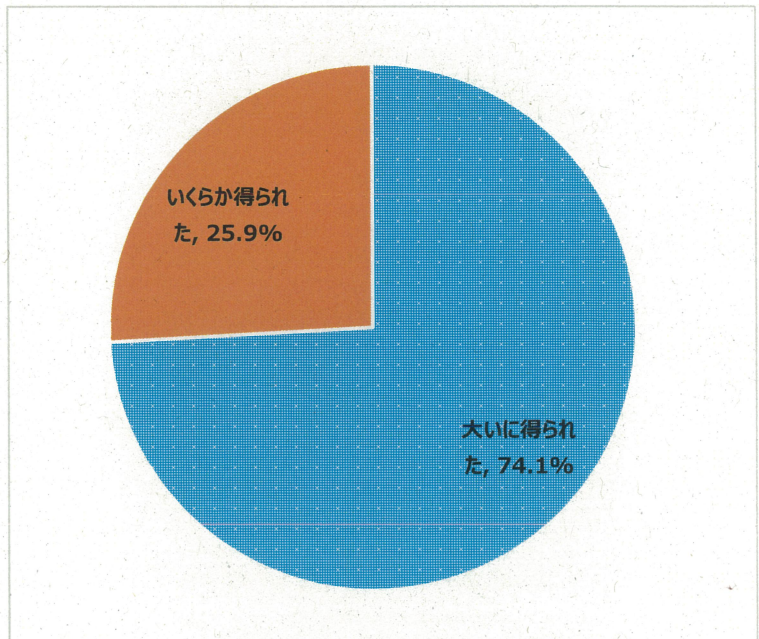
| | |
|--------------|----|
| よく理解できた | 62 |
| ある程度理解できた | 24 |
| あまり参考にならなかった | 1 |
| 参考にならなかった | 0 |



令和4年度第2回保育施設等職員研修会アンケート結果 【宮津市 全体】

3 研修会の内容を今後に活かす意欲・刺激について

| | |
|-------------|----|
| 大いに得られた | 63 |
| いくらか得られた | 22 |
| どちらともいえない | 0 |
| ほとんど得られなかった | 0 |

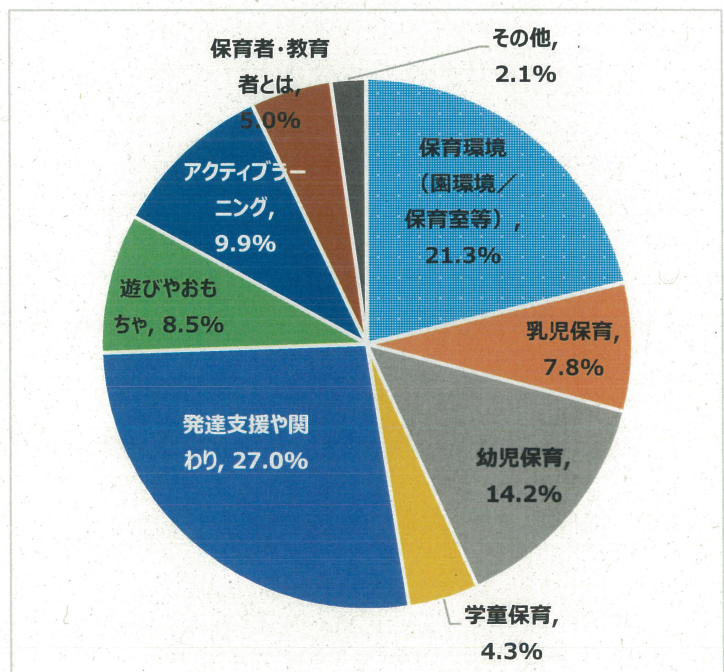


8 もっと知りたい・学びたいことはありますか

| | |
|----------------|----|
| 保育環境（園環境／保育室等） | 30 |
| 乳児保育 | 11 |
| 幼児保育 | 20 |
| 学童保育 | 6 |
| 発達支援や関わり | 38 |
| 遊びやおもちゃ | 12 |
| アクティブラーニング | 14 |
| 保育者・教育者とは | 7 |
| その他 | 3 |

※その他

- ・支援者のメンタリティーを向上させるには。
- ・心とからだ。
- ・遊びと意欲、学びと学習。
- ・保育がどう教育に結びつくのか。



令和4年度第2回保育施設等職員研修会アンケート結果 【保育施設（保育士）】

4 研修会で印象に残っていること

- ・教えない教師は優秀→「教える」が基本だった時代でしたので、ある意味衝撃と納得でした。
- ・3Rから4Cへ
- ・自己選択、自己決定、自己解決
- ・焼き芋の写真、子どもの「したい」にすぐに応える。明日何か一つやってみる。
- ・まずはおもちゃを分ける。
- ・教えない教師は優秀。
- ・居心地のいい場所を作ることが発達につながる。
- ・学習性無力感。これは子育て中の方にも是非知ってもらいたい。
- ・教えない教師は優秀。
- ・居心地感。
- ・環境づくりの大切さ。
- ・選択させてあげることの大切さ。
- ・子どもの主体性、大人の主体性について
- ・全ての子どもにとって大切な必要な話
- ・快とともに学ぶは「CARE」であること。保育者や教育者は「CARE GIVER」ケアを与える人でなければならない。
- ・保育環境が子どもにとって見える化しているのか（文字は補助的に使うこと）
- ・教えない教師は優秀、黙るのではなく問う導く。
- ・保育士はケアを与える人
- ・“教えない教師”という言葉に印象が残りました。乳幼児期から子どもに選択肢を与え、決定するまで待つことの必要性を感じました。
- ・最初に言われた5つのこと。思いあたることもあり、改めていきたいと思えます。
- ・居心地のいい場所が“居場所”だということが1番印象に残りました。子どもたちにとっての居場所を必ず保証したいです。
- ・学習性無力感について、無意識のうちに声をかけたことにより、そうならないよう意識を持ち、声かけ、関わりをしていきたい。
- また、子ども一人一人をしっかりと見ていきたいと思いました。
- ・安心できる環境で子どもたちは遊びを通して学んでいくこと。
- ・教えない教師は優秀、子どもの主体性。
- ・人が学ぶ条件。
- ・明日から何ができるのかを具体的に教えていただいたこと。
- ・安心、安定感、居心地の良さがあってこそ発達をしていくということを学びました。
- ・子どもが遊びたいと思うような環境づくり、空間が見えやすい環境づくりが大切なこと。
- ・主体的に学ぶ魅力的な空間。
- ・4つのC
- ・教えない教師は優秀。4Cの大切さ。考える力は生きる力。
- ・子どもたちにとってケアを与える人。
- ・子どもが意欲を持ち、自主的に学ぶにはまず、情緒の安定が必要であること。
- ・「快」が発達すると記憶する力が育むということ。
- ・部屋の環境構成のポイント5つ。写真、イラストでの視覚で伝える。
- ・魅力的な空間作り。
- ・子どもの目線にたつ
- ・空間作り。
- ・子どもが選択できるようにする言葉かけ。
- ・指示語が意欲を奪う。
- ・部屋の整理、子どもの目の高さに合わせる。
- ・居心地のよい空間づくり。
- ・子どもの関りの細分化。
- ・CAREを与える人、心に響きました。
- ・プランボード、選択する力、居心地感。
- ・おもちゃで遊ぶとき、面白いところ3つ、その中にある発達3つ、そのおもちゃを与えて発達があるかを考えること。
- ・教えない教育、子どもたちに問う教育。
- ・学びのある空間、楽しい、おもしろい、居心地がいい。
- ・「教えない教育は優秀」が印象に残りました。教えるのではなく、子ども自身が自分で考えられるような問いかけをすることが重要だと学びました。
- ・海馬の長期記憶は快があってこそのお話し。
- ・3Cを日案、週案に。
- ・やはり居心地感が保育施設のベースなのだということ。
- ・100cm以下の世界。
- ・脳の脅迫。
- ・ここで居たい？
- ・何もかも一緒に入っているとガラクタ。
- ・教育はケアとともにある。

令和4年度第2回保育施設等職員研修会アンケート結果 【保育施設（保育士）】

5 研修会の感想

- ・今も多くの学びがありました。
- ・明日からやってみたく思うことがたくさんありました。
- ・明日からの保育に活かします。
- ・大切なことを改めて学ばせていただきました、と同時に足りないものは自分で学び続ける必要があるのだと感じました。ありがとうございました。
- ・今すぐにできることをみってみようと思いました。
- ・自分の保育について、振り返りの時間となりました。新年度どんな環境にするか考えながら聞かせていただきました。
- ・与え方、関わり方の大切さを学びました。
- ・小学校の先生方も多く参加しておられました、「教えない教師」の言葉だけがひとり歩きしそうで怖いです。
- ・いつも先生の話は、ワクワクして聞いています。すぐに出来ることから子どもたちとやっていきたいです。
- ・今後に向けて取り組みたいこと、考えたいことがたくさんあり、とても学びになりました。職員で共有していきたい。
- ・講義の中では内心ギクリと思うこともありましたが、今後どうすればよいか考え、やってみるという中で、少しでも自分の行い、言葉に気をつけることをあげていきたいと思います。
- ・自園では職員がおなじ温度で子どもに接し、また、環境構成も同じように考えながらやっていると思います。更にとりあえず居心地よく、どの部屋でも迷わず自ら動けるのかを話をしあって考えていきたいと思います。
- ・「～しないなら〇〇できないよ」と普段何気なく使ってしまうこともあった。言葉の強要であり、不適切な関わりをしていたと感じ、しっかり見直していきたいと思った。
- ・たんぼ保育園の報告など聞き、環境整理を行っていきたくと思いました。
- ・出来ること、そうでないことがあります、共有していきたい。
- ・子どもに選ばせるような環境づくりの大切さ。魅力的な空間づくり。主体的に学ばないと定着は薄いということにつながり、より考えを新たにしました。ありがとうございました。今後の保育に活かしていきたいと思います。
- ・はっとさせられることがたくさんありました。保育室の見直しはすぐにしようと思います。（整理、おもちゃの見せ方など）
- ・4月からの環境構成をちょうど職員間で話し合っている所でしたので、大いに参考になりました。ぜひ明日から実践したいと思います。
- ・本当に毎回、先生のお話はためになることしかありません、すぐにやろうと思う気持ちにさせてくれるので、私にとっての日々のパワーとなっています！！ありがとうございます。
- ・改めて子どもたちが自分で選んで遊び込みができる環境づくりの大切さを感じた。
- ・玩具の整理整頓、見直しをしっかりとしていきたいと思いました。
- ・日常であたり前と思っていたことに疑問を持つことが大切だと感じ、考えていきたいと思いました。
- ・傷ついた本や片付けだけの玩具をそのままにしていたのですが、そこから整理していきたいと思います。
- ・ありがとうございました。
- ・日々の保育を毎回ながら改めて見つめ直すきっかけをいただいています。
- ・居心地の良い空間づくりをしてあげながら、子ども自身が選んで楽しく遊べるよう明日からの保育を見直したい。
- ・子どもの（赤ちゃん）オムツがえのところに、てんかいがあって真似してみたいと思いました。
- ・とても良いお話を聞かせていただき、ありがとうございました。
- ・環境構成の仕方、子どもの目線になって作り上げる環境にしていきたいです。
- ・とにかく「居心地が良い」空間づくりを心がける。まずは色々試してみる（行動する）ことが大事。
- ・改めて自分の保育の見直しをすることができた。
- ・どう空間をつくっていけばいいか、すごく勉強になった。
- ・保育室の見直しをしていこうと思います。
- ・子どもが居心地がよいと思える場所を作っていこうと思います。
- ・言葉かけについて気をつけたい。
- ・視覚的な環境を整えたい。
- ・なんとか園に反映させたいと思うが、なかなか難しいと思う。
- ・職員の意識改革。他園に比べると職員の意識・考えをかえることが難しいかも。
- ・貴重なお話をありがとうございました。来年度の環境づくりに活かしていきたいと思うことがたくさんありました。
- ・遊びを通した学びを実践したいと常々考えています。今日の講義でいくつかヒントを得た気がします。
- ・自分の保育観、保育環境についての見直しについて考えるものがあつた。
- ・子どもが自分自身で学ぶアクティビティについて。自己選択、自己決定、自己解決は自然につく力ではなく、育てるものであるということについて考えさせられた。
- ・環境を整えるだけでなく、与えた環境（おもちゃ等）に自分自身が目的や発達の保障を持っておかななくては子どもの学びにつながらないと学びました。
- ・声かけの言い回し方が難しいと思いました。指示語にはならないよう、子どもに寄り添いながら声かけしていこうと思いました。
- ・共感できたことは保育で実践していきたい。
- ・お話しに引き込まれあつたという間でした。もっともっと深く知りたいです。
- ・聞くたびに納得。やってみようと考えさせられます。
- ・改めて大切にしたいこと、居心地感のよい空間づくりが必要だと思いました。
- ・狭いからできないと思っていましたが、できる所から工夫していきたいです。
- ・おもちゃで遊ぶ→遊び方3つ・・・ぜひやってみたいと思いました。
- ・勝山先生の思いをぎゅっと詰め込んである講演でした。ありがとうございました。これからも学び続けたいと思いました。

令和4年度第2回保育施設等職員研修会アンケート結果 【保育施設（保育士）】

6 日々子どもたちや保護者との関りの中で“難しいなあ”と感じることはありますか

- ・家族のあり方が複雑化してきて、いろいろなケースに対応しないといけない。保護者支援の難しさ。
- ・すぐに手が出てしまう子に関しては、つい厳しく声をかけてしまう。
- ・子どもの行動を大切にしながら関わる中で、たまに意図的な働きかけをしてしまう。
- ・集団で保育している時、集団から離れたり自主すぎる子どもを生活リズムに馴染ませようとするのが難しい。
- ・不適切な言葉に注意しないといけない。
- ・自己選択、自己決定、自己解決のできない子に対して、少しずつ選択する機会を与えています。スモールステップです。
- ・先生間の方が難しいです。
- ・行事前（運動会・発表会）は余裕もなく、主体性より「させる」保育になってしまう。
- ・異年齢保育は思いやりの力を育てることができるが、活動内容が環境を考えるのが難しい。（小規模だと0歳児が5歳のクラスで遊ぶこともあり、幼児の主体性な環境が作りにくい）
- ・子どもが身の回りのことなど自分でできることも甘えて保育者にしてもらおうとします。その時は一緒にしたり甘えたい気持ちを受け止めるようにしているが、それが続いてやってもらってあたり前と思わないか、気になります。
- ・気になる子がクラスの中に多く、その子たちに日々追われて他の子と一緒に遊び込めない。
- ・人によってとらえ方や感じ方が違うので、言葉で伝えるのが難しいです。
- ・どうしてもできるようになった事に目が向きがちな保護者が多く、そこに向かうまでの過程の大切さを伝える難しさを感じています。
- ・子ども同士、トラブル、手が出るのがあって、その手が出る子ばかり支援がいき、なかなか他の子たちとゆっくり関われないことがある。
- ・限られた空間の中で、遊び方や玩具の使いも
- ・「自分の世界」を持っている子への関り方や促し方。
- ・子どもたちのつぶやきをなかなか拾うことができず、遊びを広げられない。
- ・子どものしつけが家でできない家庭に対する援助。
- ・保育園では集団生活であるが故、丁寧な関わり方が難しい。
- ・自分たちが普通（あたりまえ）と思うことが普通ではない。
- ・思いどおりにいかなかったり、気に入らないことがあったりすると、気持ちが崩れ大泣きし、部屋を出ていく子への関わり方なかなかゆったりと関わってあげられない。
- ・気になる子への保護者への伝え方。オブラートに包みすぎると伝わらないけど…。
- ・自己主張することは大切なことだが、関わり方に難しさを感じる。
- ・子ども一人一人がやりたいことに、じっくり時間をかけて対応できないこと。
- ・職員間での熱量の差。
- ・「できる」「できない」をかなり気にしておられる保護者の方や、今、その習い事は必要なあとと思っても伝えられないことがある。保育が子どもや保護者へのサービスになっており、「一緒に」育つことを喜べなくなっていると感じる。
- ・楽しめるかな？ 楽しめてるかな？
- ・言葉の関わり、こう言ってもいいかな？
- ・限られた保育者がいかに子どものその気になる環境を提供し、その時を待てるか、待つことの難しさを感じます。せまい空間でのコーナーづくりも難しいです。
- ・「今やりたい！」がわがままなのか、させてあげたい気持ちと悩める。
- ・学べば学ぶほど、まだまだだ…と感じます。発達も環境も…。もっと知らなくてはと思います。

令和4年度第2回保育施設等職員研修会アンケート結果 【保育施設（保育士）】

7 次回の研修会に向けて、勝山氏に聞きたい・学びたいことはありますか

- ・コーナーを分けると違うコーナーのおもちゃを持ってきてぐちゃぐちゃになってしまう。
- ・仕切りにのぼる。
- ・ままごとキッチンには、どういう向きに配置した方がいいのか。
- ・どうしても自分のこととして考えていない先生方がいます。研修を受けても全く改善しようとされない方（園に長くいる人ほど）を誰も注意しない。そんな人はどう指導するべきですか。
- ・外国の保育について（価値観や大切にしていることなど）
- ・SDGSを保育現場にどう取り入れるのか。
- ・行事のあり方
- ・何歳児は、こんなおもちゃがいいなど、おすすめのもの、それがどんな学びになるのかを教えてください。
- ・給食2グループの順番に食べるやり方、保育士の動き（一人担任・複数担任）教えてください。
- ・外遊びのことについて
- ・子ども同士での言い合い「〇〇くんが〇〇した」「していない」などのトラブルの際の適切な見守り・関わり方を教えてください。
- ・具体的な空間作り。もっとどのように空間作りをしたらいいか。
- ・ありがとうございました。
- ・生活の中でどうしても待ち時間があり、絵本を見て待つ…という風になってしまっている。どうしたらいいのか…。
- ・人的環境の大切さ。
- ・保育環境についての実践例やアイデアを教えてください。
- ・遊戯室や園庭での遊び方。
- ・気持ちの切り替えにくい子の関わり方。
- ・子どもの体が、自分で思った通りに動かせない子が増えていると思います。（真似をして同じポーズがとれない）。その背景には何があるのか知りたいです。
- ・少人数の異年齢集団の環境作り、どこにスポットを当てれば良いか難しいです。

令和4年度第2回保育施設等職員研修会アンケート結果 【幼稚園】

4 研修会で印象に残っていること

- ・作業を強要すると学習性無力感→回復がとても難しい。
- ・自己決定、自己選択、自己解決力の力を育むこと
- ・壁面のあり方
- ・3R→4Cへ
- ・“ワクワク”できる環境
- ・居心地の良い部屋づくり
- ・居心地の良い空間
- ・花なんてどうでしょう。
- ・CARE GIVER
- ・地上100センチ以下の世界
- ・学習性無力感
- ・経験させてあげることが必要。しかし、しなやかに！！とてもよく分かりました。
- ・自分を認知してもらえる、心地の良い安心できる場所を作っているか。

5 研修会の感想

- ・直ぐにでも保育室の環境を見直していきたいと思いました。
その時間がとれない！を理由にせず、取り組んで行きたいと思います。
- ・まだまだ自己決定の場を増やしていけると感じました。
- ・写真が多く、環境を変えるポイントが一目で分かり良かったです。
- ・今できることは何なのか。行動することの大切さ。たくさん学びました。
- ・分かりやすいお話でした。学期末ですが、少しでも変えていけたらと思いました。
- ・子どもの発達、成長のために人間の脳の作りから見た教育・援助の仕方、環境について、お話いただき、快を感じることを大切さ、学習性無力感を植え付けないことの大切さを感じました。また、子どもと関わる時、子どもの目線に合わせることは、いつもしていないことだが、子どもが過ごす空間を目線を下げたことはしたことがないので、これから取り入れたいと思います。
- ・日頃の保育現場で、今日聞かせていただいたことができているか、思い返しなが聴くことができました。
主体的に子どもが動ける、楽しい快が伴う空間が作れているか？反省する所が多々ありました…。

6 日々子どもたちや保護者との関りの中で“難しいなあ”と感じることはありますか

- ・写真を撮って、HPやお便りで知らせたい。写真を撮っていると遊べない（子どもの遊びにかかわりきれない）

7 次回の研修会に向けて、勝山氏に聞きたい・学びたいことはありますか

令和4年度第2回保育施設等職員研修会アンケート結果 【子育て支援センター・児童発達支援センター】

4 研修会で印象に残っていること

- ・環境の大切さ
- ・楽しい、遊びを通して学習することはおもしろい、居心地が良い
- ・プランニングボード
- ・空間づくり
- ・無駄なこと、必要なことを考え直す必要を感じた。
- ・教育を考えた、空間の作り方の大切さを知った。
- ・“大人がお客さん”で子どもの目線になってみること。
- ・居心地のよい空間かどうか。
- ・子どもがやってみたいと思える環境設定。自己選択、自己決定、自己解決できる場を設定すること。
- ・快の状態であることが、まず子どもの育ち、発達の定着につながる。

5 研修会の感想

- ・脅迫言葉を使っていたので、ゾッとした。
- ・子どもだけでなく、大人との関わり方の勉強にもなった。明日何か一つやってみます。
- ・まずは何か一つ始めてみようと思います。
- ・教育の新しい考え方を教えてもらった。
- ・脳の発育の大切さ、やり方等考えさせられることが多かった。
- ・子どもたちが楽しい、おもしろいと感じるためには、大人がまず楽しいと感じるかどうか大切だと思いました。
- ・工夫された環境写真。大人も遊びたい、一目見て分かるしかけが重要だと感じた。
- ・環境設定と言われることが多い中、とても深い学びになりました。意図的にひとりひとりに合わせた設定を行うこと、それにはまず行動分析（子どもの興味関心）も大切ですね。日々に流されず、子どもの発達が日々促進できる場をつくりたいです。

6 日々子どもたちや保護者との関りの中で“難しいなあ”と感じることはありますか

- ・託児をしている時に、泣き出して（後半で泣くとき）、泣き止まない時の対処方法が知りたい。
- ・保護者の方とのコミュニケーションの取り方。（会話を始める時の最初の一言）
- ・「子どもの目線に立つ」ということが、支援の場面で出てくることがあるが、環境の場面において、実際に低い所を見ることをすっかり忘れていた。しゃがんでみようと思った。

7 次回の研修会に向けて、勝山氏に聞きたい・学びたいことはありますか

- ・家族環境の悪い子どもへの関わり方。大人（保護者）への関わり方。
- ・子育て支援のあり方。
- ・子育て支援センターのあり方、市との連携

令和4年度第2回保育施設等職員研修会アンケート結果 【小中学校・放課後児童クラブ】

4 研修会で印象に残っていること

- ・空間を作ること
- ・教育者はケアを与える人であれ
- ・主体的に学ぶ魅力的空間
- ・大人の主体性
- ・教育はケアとともにあるということ
- ・学習性無力感は回復が難しい
- ・教育：養護
- ・居場所づくり
- ・教えない、問う
- ・快とともに得られる経験
- ・快のある遊び
- ・学びの環境、4C
- ・おとながお客さん
- ・教育の環境づくり
- ・学びを快とすること
- ・教えないという教育観
- ・「快」と記憶力（長期記憶）⇒海馬に働きかけが記憶力を高める。
- ・主体的に学ぶ魅力的な空間
- ・自己選択、自己決定、自己解決
- ・学びのある空間、教育環境をいかに作り出すか。
- ・小学生は遊びの中で学ぶ→居心地のいい居場所。
- ・選択する遊びー自己決定力を育む
- ・自分がそこにいたいと思えるか。空間の作り方
- ・見える化、視覚化、貼紙の見直しなど
- ・主体的に学ぶ
- ・学びのある空間
- ・空間づくりの大切、作り方
- ・主体的に学ぶ、魅力的な空間、学びのある空間づくり
- ・3Rから4Cへ

5 研修会の感想

- ・遊びを通して学びを高めること。ワクワクさせて学ばせると記憶力が上がる→中学生にとっても必要であると思いました、そして大切です。
- ・叱るとか、ダメなことをしっかり伝えることは必要なのか。
- ・教育環境を整えることの意義について考えることができた。
- ・「快」を伴う教育活動・環境について考えたり、精神的な安定の大切さについて考えたりすることができた。
- ・「してあげる」という言葉で、してあげる、整った環境が本当に良いのか？整った中でしか遊べないようになるのでは？
- exペルをならしたい→自分でつくってみよう（創造力）
- ADHDなど多動、集中力に欠ける子への配慮として、物がたくさん出ていることは良いのか？（興味の転導性）
- ・今日の話で過ごした園児が小中学校になると、持っている力をさらに伸ばすことができる。
- ・たくさんメモをしました。後で整理して職員へ伝えたいです。
- ・子どもが学ぶ環境というものを本気で考えてみたい。
- ・多くの学びが得られました。本校の教育を見直すきっかけになりました。ありがとうございました。
- ・3Rから4Cとなる教育を推進したい。
- ・遊びは脳の栄養源。
- ・子どもが意欲を持ち自主的に学ぶには、まずは「気持ち」や「情緒の安定」が必要。
- ・教室の構造化をできる限り行い、子どもたちが学びやすい環境づくりをしていきたいと思った。
- ・学童保育担当者として、先生の話も小学生の子どもに置き換えて聞かせてもらいました。
- ・時間設定が夜は出にくいです。
- ・スクリーンが速く動き、ついていくのがしんどかった。一日勤務後、夕食時間もなく、長時間で厳しかったです。
- ・日々の支援の中でできていること、逆にこれやっていたから見直さないと実感できることがたくさんあり、とても良い機会となりました。
- ・ここ見直したい、これ変えたいと思う部分がたくさんあったので実践したいです。
- ・子どもの主体的に学ばせる
- ・環境づくり（壁画など）
- ・気づきが多くあった
- ・前回は参加させていただき、今回も大変学びが多かったです。
- ・学習性無力感につながる言葉がけをたくさんしていたと反省しました。まずは出来ることからやってみて、居心地の良い居場所が作れたらと思います。

令和4年度第2回保育施設等職員研修会アンケート結果 【小中学校・放課後児童クラブ】

6 日々の子もたちや保護者との関りの中で“難しいなあ”と感じることはありますか

- ・子どもと保護者の関係（友達化）
- ・考え方や常識の感覚が、一般的でない方と関わること。
- ・教室での子どもの様子、思いをうまく伝えられないこと、教育感、価値観の違い。
- ・思いのズレ
- ・環境づくりは大切と思うが、時間がない。お金もない。
- ・発達障害等の支援（個に応じた指導の見立て）について
- ・エゴ（自我）が芽生えの時期の対応の仕方
- ・限られた時間の中で、大切・必要だと思うが「待つ」時間をつくるのが難しい。
- ・学年差のある学童の中で、一人一人の学びを考えた遊びの場
- ・指示語をなくす。自己研鑽
- ・安全をとるのか、子どもたちの“やりたい！”という気持ちをとるのか、保護者の“こうしてほしい”をとるのか。
- ・様々なおもちゃや教材などがある中で、「やることない」「つまらない」という児童への対応。自分で考えようとしなない。
- ・子どもに対しての声かけ
- ・行事について、どうふうにやってくれるか

7 次回の研修会に向けて、勝山氏に聞きたい・学びたいことはありますか

- ・教育カリキュラムの中での学校教育の在り方（教えない教育）
- ・保幼→小→中学校における系統的な理想の環境とは？（教室・学校など）保育現場を参観しながらその場で今日の話を知りたい。
- ・教職員がきける時間帯の設定（17時まで）
- ・参考写真の多くは新しくきれいでしたが、古くて汚い状況の場合、どうすればよいですか？（予算がない場合）
- ・遊び 大人が楽しむことを子どもに感じ取らせる。感性を育てる学習がしたい。
- ・放課後児童クラブは同じ部屋で様々な学年が生活するので、そのあたりの行動の仕方など学年で成長度合いなども様々なので。ただ部屋や支援員の人数等も限られており、全員 // スケジュールやルールなどで今は支援しています。
- ・子どもに対しての声のかけ方

令和4年度第2回保育施設等職員研修会アンケート結果 【主任児童委員・市役所・その他】

4 研修会で印象に残っていること

- ・初めのあたりの一斉指導は自主的学びを生まない。自分が受けてきた教育はすべてそうだった。大人になってからやっと自分で学びたいことを学んでいます。
- ・海馬に働きかけ、記憶力を高めます。学習は遊びの中に。
- ・目にする言葉が行動まで変える。
- ・居心地のいい場所を作ることが良かったです。居心地のない子どもに（他人にも）しっかり居場所を作ってあげたいと思いました。
- ・教えない教師は優秀
- ・快とともに学ぶ

5 研修会の感想

- ・私は保育士・教師ではありませんが、孫に対する接し方を考えさせられました。主体的に学ぶ魅力的な空間。
- ・初めて参加しました。次回もお話を聞きたいです。子どもを育てる中で大切なことがたくさんありました。
- ・私は保育や教育現場を経験したことがないので、なかなか理解することが難しかった。

6 日々子どもたちや保護者との関りの中で“難しいなあ”と感じることはありますか

- ・粘り強さは自主的に育つものなのだろうか

7 次回の研修会に向けて、勝山氏に聞きたい・学びたいことはありますか